

株式会社ブイ・テクノロジー 2024年3月期(第27期)

# 定時株主総会

# V-TECHNOLOGY

## ご報告事項

1. 第27期(2023年4月1日から2024年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び 監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

2. 第27期(2023年4月1日から2024年3月31日まで) 計算書類報告の件

## 決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

第2号議案 取締役5名選任の件

第3号議案 監査役2名選任の件



## ご報告事項(2023年4月1日~2024年3月31日)

- (1) 事業の経過及び成果
- (2) 重要な事業再編等の状況
- (3) 対処すべき課題

## (1)事業の経過および成果・・・・事業環境

地域	
世界経済	<ul><li>・ 地政学的な緊張の強まり(ウクライナ危機、中東情勢)</li><li>・ 地域で景況感に大きな違い、強まる景気先行きの不透明感</li></ul>
米国	金融引締めが続いたが、好調な個人消費等から、景気は堅調に推移
中国	不動産開発投資の大幅減少で、景気回復は低い伸び
日本	企業の設備投資やインバウンド需要が堅調、緩やかな景気回復

## 事業セグメント

FPD装置事業	パネル市況の悪化から、設備投資が停滞
半導体・フォトマスク装置事業	当社事業に関連する設備投資は概ね計画通りに推移



## (1)事業の経過および成果・・・・連結業績

概ね計画通りの着地(計画比達成率:売上高93.3%/営業利益84.6%/経常利益130.8%/当期利益141.5%)

	FY23/3 FY24/3				
(百万円)	実績	業績予想 (2024/2/8時点)	実績	予想比	前年同期比
売上高	43,146	40,000	37,335	<b>▲</b> 6.7%	<b>▲</b> 13.5%
営業利益	986	1,000	846	<b>▲</b> 15.4%	<b>▲</b> 14.2%
(利益率%)	2.3%	2.5%	2.3%	▲0.2%	0.0%
経常利益	1,700	850	1,112	+30.8%	<b>▲</b> 34.6%
(利益率%)	3.9%	2.1%	3.0%	+0.9%	▲0.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	260	550	778	+41.5%	199.1%
(利益率%)	0.6%	1.4%	2.1%	+0.7%	+1.5%

## (1)事業の経過および成果・・・・事業セグメント

- ・ 半導体-フォトマスク装置事業・・・・ウェハ、DI、マスクの各事業が伸長
- FPD装置事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・売上減およびOLED関連子会社事業の不振により減収減益

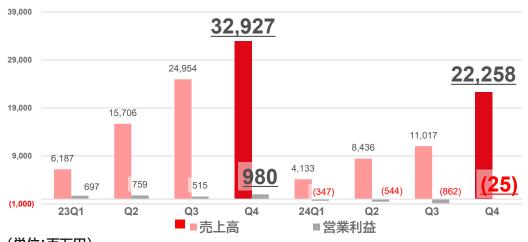
#### 半導体・フォトマスク装置事業

	FY23/3	FY24/3	前年比
売上高	9,262	14,052	+51.7%
<b>営業利益</b> (セグメント利益率)	254 (2.7%)	1,234 (8.8%)	+385.8%



#### FPD装置事業

	FY23/3	FY24/3	前年比
売上高	32,927	22,258	▲32.4%
営業利益(▲損失) (セグメント利益率)	980 (3.0%)	<b>▲25</b> (−%)	(-%)



(単位:百万円)

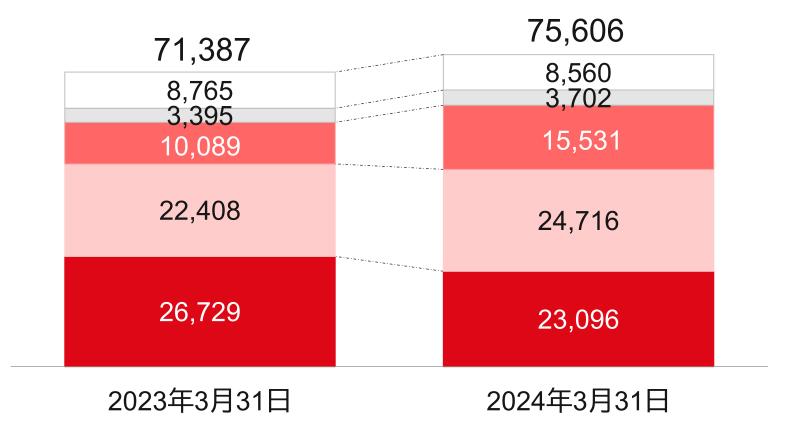


## (1)事業の経過および成果・・・・貸借対照表(総資産)

主に現預金の減少と、受取手形及び売掛金と棚卸資産の増加により756億円(前期末比+42億円)

#### 総資産

- □固定資産
- ■その他流動資産
- ■棚卸資産
- ■受取手形及び売掛金
- ■現金及び預金



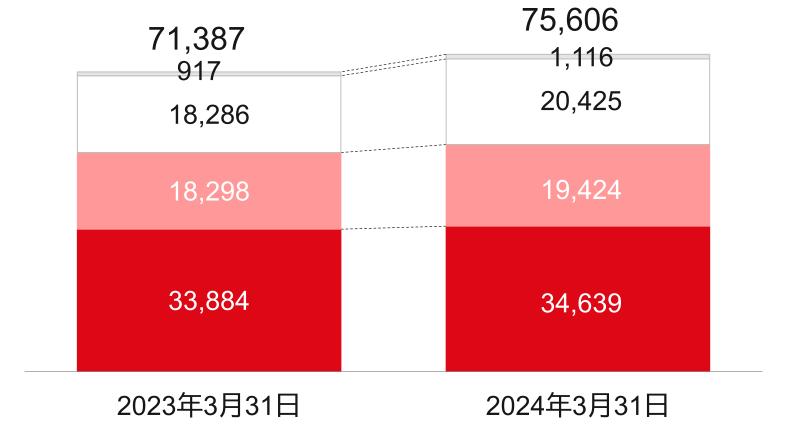


## (1)事業の経過および成果・・・・貸借対照表(負債・純資産)

- ・ 負債・・・・・・「借入金」と「その他流動負債」の増加により409億円(前期末比+34億円)
- ・ 純資産・・・・・「為替換算調整勘定」と「利益剰余金」の増加により346億円(前期末比+7億円)

#### 負債·純資産

- ■その他固定負債
- □借入金(短期·長期)
- ■その他流動負債
- ■純資産





## (2)重要な事業再編の状況

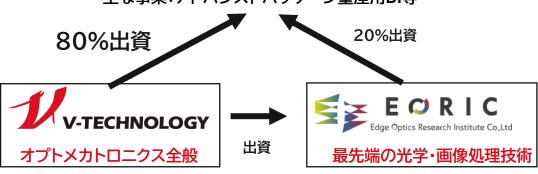
#### アドバンスドパッケージ分野への注力

① 2023年4月に、LE-TECHNOLOGYを設立





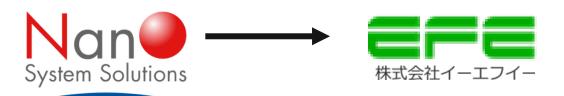
主な事業:アドバンスドパッケージ量産用DI等



開発パートナー

#### グループの効率的な運営に向けて

② 2023年10月に、EFE社を吸収合併 (ナノシステムソリューションズが存続会社に)



100%出資子会社の吸収合併

③ 2023年11月に、台湾子会社2社を統合

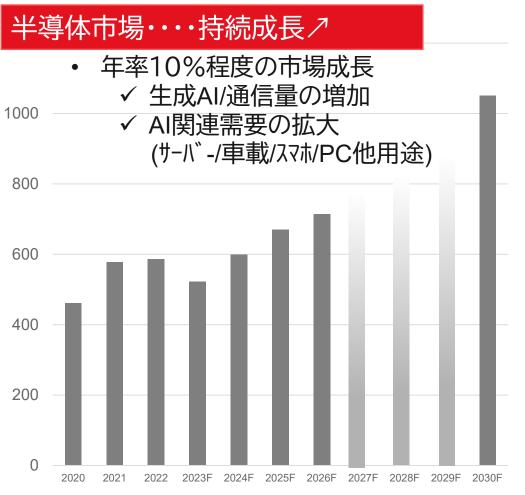
V-TEC Co., Ltd.VN Systems Taiwan

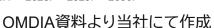
V Technology Taiwan Co., Ltd.

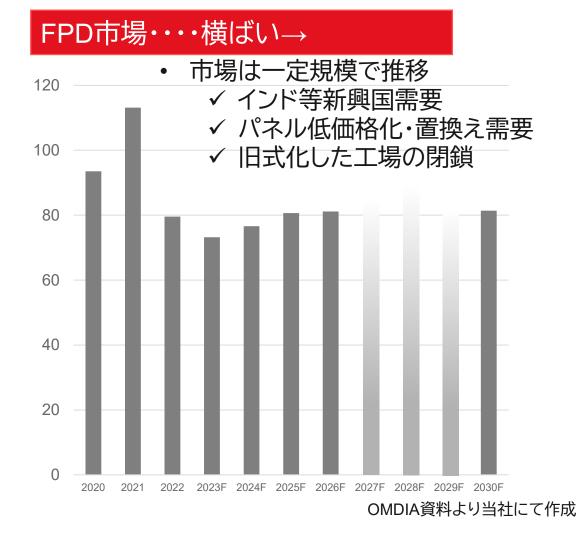
VN Systems Taiwanを存続会社として社名変更

## (3)対処すべき課題・・・・中長期の経営環境

成長する半導体分野での事業拡大、成熟するFPD分野でのシェアの維持・収益性向上が課題



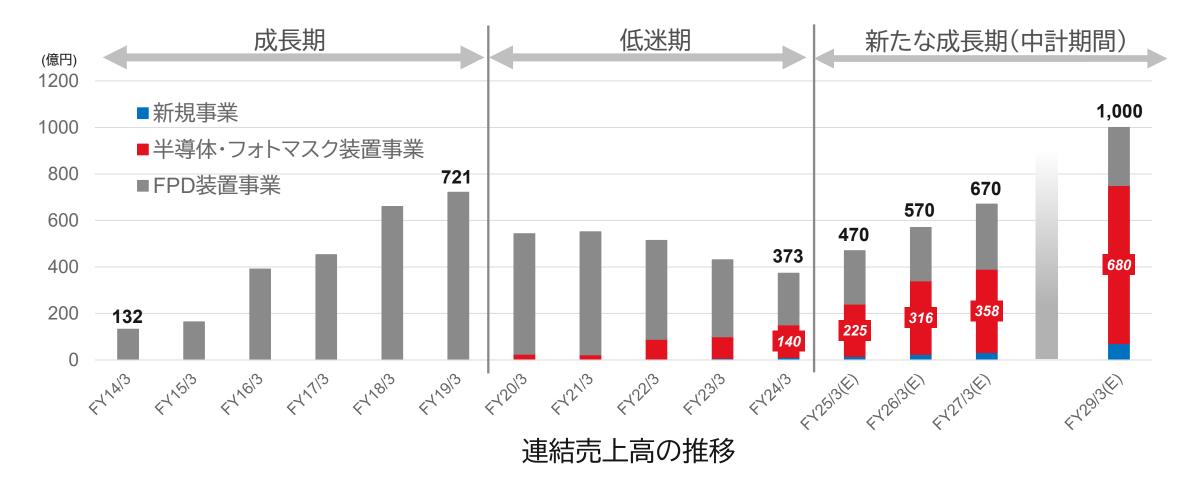






## (3)対処すべき課題・・・・持続成長に向けた取組み① 概要

- 当社グループは、社会的課題に対するイノベーションに取組み、持続成長の実現を目指しています。
- 今般、業績低迷時期から脱却し、新たな成長期を迎え、今後5年間の中期計画を発表いたしました。

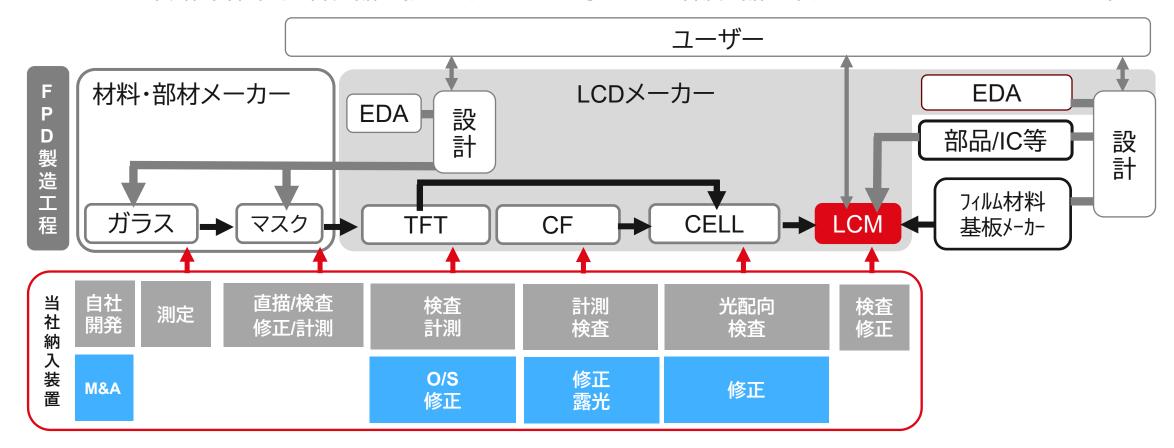


製造工程の上流から下流までを網羅したパッケージ戦略\*で売上規模の拡大に成功し、

FPD装置事業の基本的な成長戦略

2019年3月期には、売上高721億円を実現

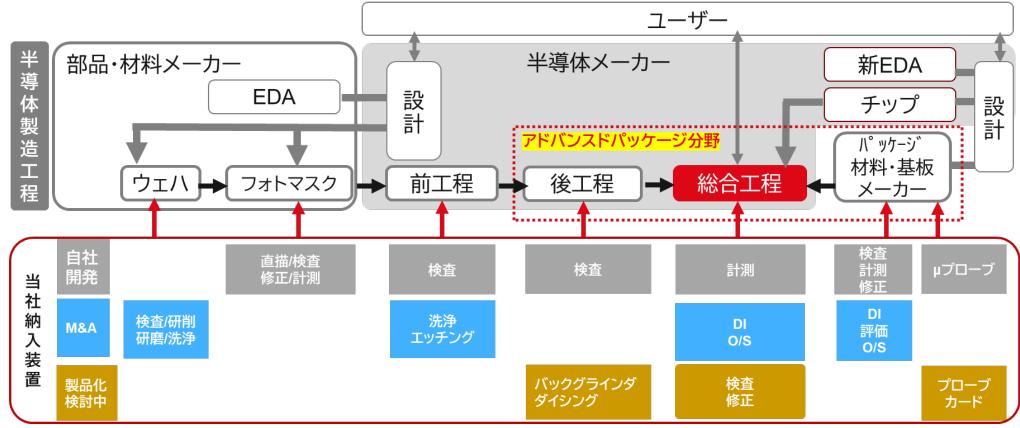
\*パッケージ戦略:自社開発新製品の投入、及びM&A等による外部製品の取込みによるフルラインナップ化





### (3)対処すべき課題・・・・持続成長に向けた取組み③ 半導体・フォトマスク装置事業の基本的な成長戦略

- FPDと同じくパッケージ戦略にて取組中
- 事業の安定化を目的に、部材事業の初期より立上げ(ルプローブ/プローブカード他)
- アドバンスドパッケージ分野への注力(後工程/総合工程/基板・材料製造)





14

## (3)対処すべき課題・・・・持続成長に向けた取組み④ 数値目標について

- ・ 半導体分野での事業成長を軸とした計画、2029年3月期の売上1,000億円の達成を目指します。
- ・ 成長著しい半導体分野での事業拡大に注力すると共に、FPDはシェア確保・収益性向上に取組みます。

+匕+西华	24年3月期	数値目標			//
指標 <del>等</del> 	(実績)	25年3月期	26年3月期	27年3月期 /	// 29年3月期
売上高(億円)	373	470	570	670	1,000
内、半導体・フォトマスク装置事業	140	225	316	358 \	680
内、FPD装置事業	223	230	230	280 \	250
内、新規事業	10	15	24	32	70
営業利益(億円)	8.5	16.0	45.0	74.0	200.0
営業利益率	2.3	3.4	7.9	11.0	20.0
**ROE (%)	2.3	2.9	8.2	12.5	23.7

\*ROEは、為替影響を織り込んでおりません。



- ・フォトマスク、シリコンウェハ製造用途の製品が、半導体・フォトマスク装置事業の成長を牽引
- ・ 高い市場成長が見込まれるアドバンスドパッケージ分野で、2023年より新しい事業を開始(次項)

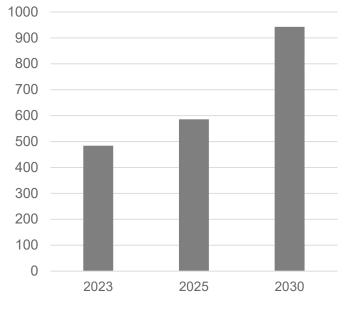
#### 生成AIの普及が、アドバンスドパッケージ市場拡大を牽引

## 生成AI世界市場(億USD) 2000 1500 1000 500 2023 2025 2030

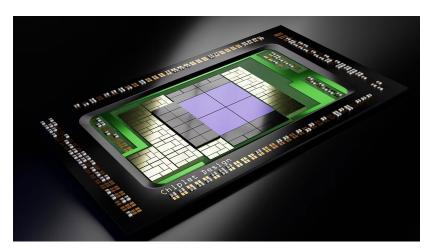
電子情報技術産業協会(JEITA)より当社にて作成

#### アドバンスドパッケージ市場(億USD)

半導体・フォトマスク装置事業での新たな取組(1)



Yole資料より当社にて作成

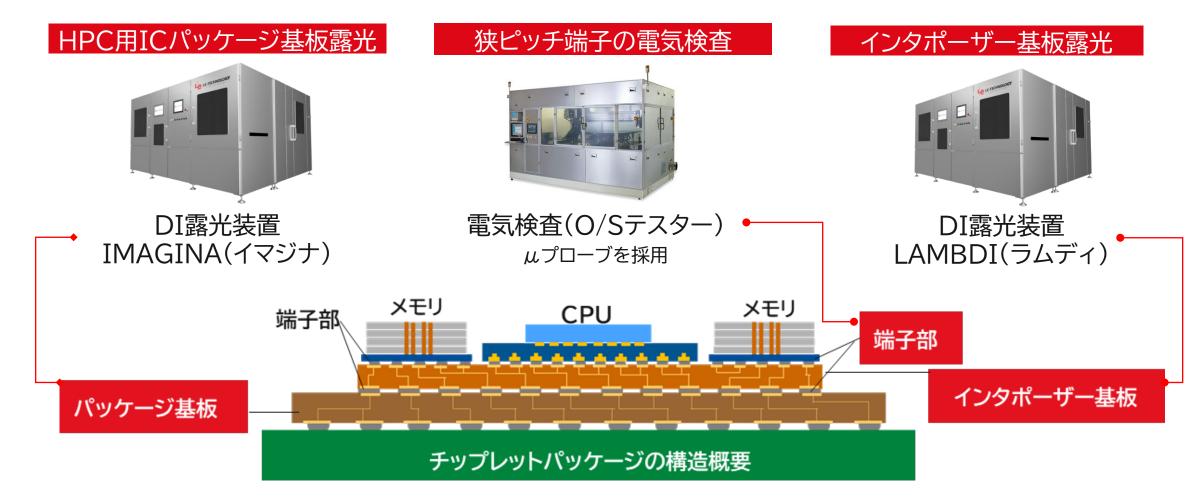


アドバンスドパッケージを用いた 半導体部品(GPU)の外観



### (3)対処すべき課題・・・・持続成長に向けた取組み⑥ 半導体・フォトマスク装置事業での新たな取組(2)

- ・ 2023年:先端半導体用のアドバンスドパッケージ製造に対応する「IMAGINA」を量産ラインに納品
- ・ 2024年:業界で最も狭いL/Sに対応する「LAMBDI」と「O/Sテスター」の受注販売を開始





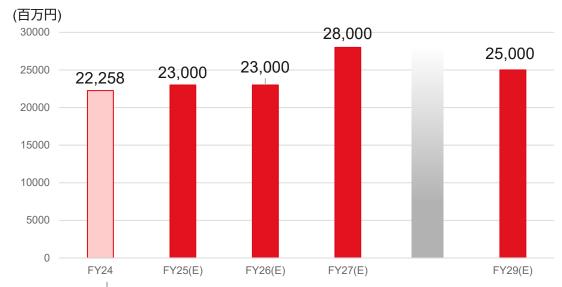
## (3)対処すべき課題・・・・持続成長に向けた取組み⑦ FPD装置事業

外部環境変化に柔軟に対応し、差別化を推進

#### 主な施策

- インド市場、成長分野への参入
- 現地生産化
- 国内外子会社の統廃合
- 部材・ロイヤリティビジネス注力
- ・ 装置検収の早期化
- 他社との協業や、M&Aによる技術・ビジネス獲得

#### 売上高の目標

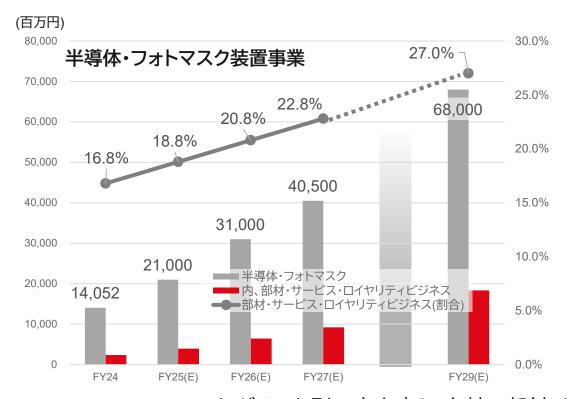


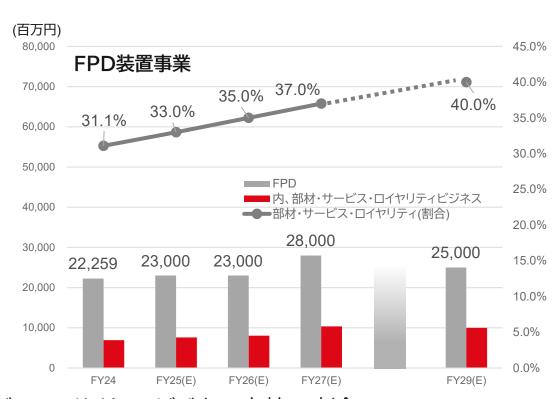
事業環境	短中期	長期
LCD	設備投資の低迷継続/インド投資	需要回復/投資再開
OLED	中型用の設備投資、小型市場の成熟	大型用の設備投資、AR/VR用需要



### (3)対処すべき課題・・・・持続成長に向けた取組み⑧ リカーリングビジネス

- リカーリングビジネス強化による業績の安定化(設備投資に左右されにくい事業構造の構築)
  - ✓ 半導体・フォトマスク装置事業・・・・フォトプローブ/チップレット設計ツール/ロイヤリティ他の推進
  - ✓ FPD装置事業・・・・・・・・・・・・・・サルベージサービス/蒸着マスク/ロイヤリティ他の推進





セグメント別の売上高と(左軸)、部材・サービス・ロイヤリティビジネス(右軸)の割合



19

#### 現在の地域展開

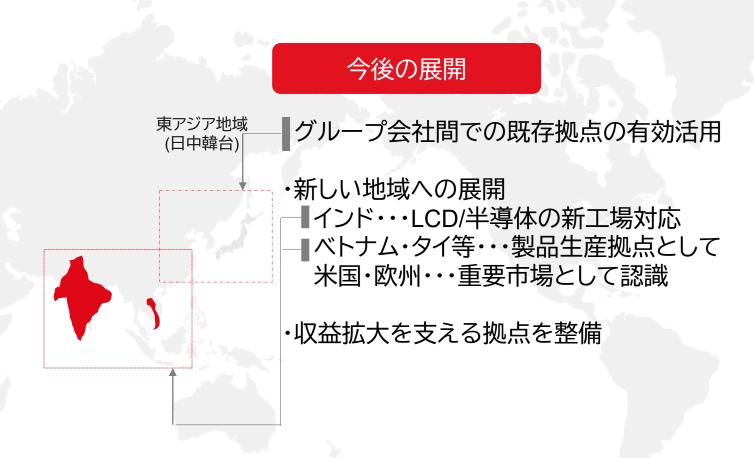
- ・FPDの顧客向けに顧客基盤構築
- ・営業/サービス拠点

2000年:韓国(3拠点)

2001年:台湾(2拠点)

2007年:中国(15拠点)

・現在、国内拠点合わせ24拠点





20

## (3)対処すべき課題・・・・持続成長に向けた取組み⑩ 新規事業

社会的課題に対するイノベーションの実現に向けて

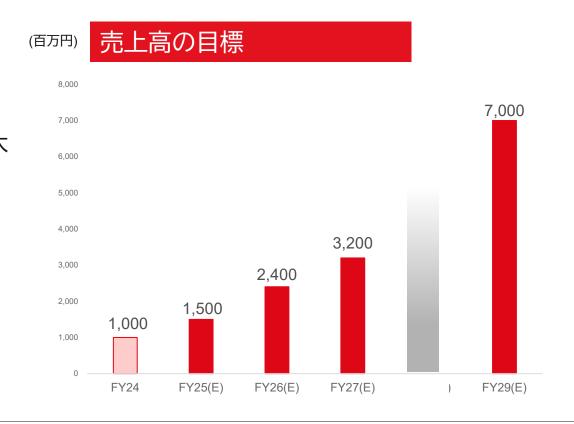
#### 主な施策

#### 農業

- トマト生産拡大(自社/フランチャイズ)
- 販路開拓(生鮮野菜/加工品原料/直販・卸)による事業拡大
- 自動化/省力化に寄与する農業技術の開発

#### IT

ソフトウェアの内製強化によるグループ内各種事業のコ ストダウン及び競争力強化



#### 事業環境

農業 国内農業生産と農業人口の減少、食の安全への関心の高まり、国内農産物輸出拡大

DX/ITの流通・医療・金融等での進展による、ITエンジニア市場の持続的な成長



## 第27期(2025年3月期)の通期業績及び配当予想

- 半導体・フォトマスク装置事業の成長を見込み、前期比で増収増益を予想
- ・ 配当については、通期で80円(前期比+20円の増配)を予想

		FY24/3実績	FY25/3 通期業	績及び配当予想
(百万円)		金額	金額	前期比
売上高		37,335	47,000	+25.9%
営業利益		846	1,600	+89.1%
(利益率)		2.3%	2.5%	+0.2%
経常利益		1,112	1,400	+25.9%
(利益率)		3.0%	2.1%	▲0.9%
親会社株主に帰属する当期純利益		778	1,000	+28.5%
(利益率)		2.1%	1.4%	▲0.7%
EPS(円)		80.65	103.90	+23.25
#1777/LLJ/	中間	30(実績)	40	+10
配当(円)	期末	30(予定)	40	+10

## 第1号議案 剰余金の処分の件

- ・当社は、将来の事業拡大や経営基盤強化のために必要な内部留保の充実を図りつつ、 配当の安定性・継続性を考慮のうえ、経営成績に応じた利益還元を行うことを 基本方針としております。
- 上記の基本方針及び当期業績等を勘案し、第27期の期末配当金を、下記のとおりと させていただきたいと存じます。

期末配当金 普通株式1株につき30円

剰余金配当の効力が生じる日(支払日) 2024年6月27日(木)



## 第2号議案 取締役5名選任の件

- 取締役5名全員は本総会終結の時をもって任期満了となります。
- つきましては、取締役5名の選任をお願いするものであります。

候補者番号	氏名(ふりがな) 生年月日
1	杉本 重人(すぎもと しげと)
I	1958年7月9日
2	神澤 幸宏(かんざわ ゆきひろ)
2	1962年10月17日
3	城戸 淳二(きど じゅんじ)
(社外/独立)	1959年2月11日
4	西村 豪人(にしむら ひでと)
(社外/独立)	1953年7月14日
5	立山 純子(たてやま じゅんこ)
(社外/独立/新任)	1980年10月29日

## 第3号議案 監査役2名選任の件

- 監査役住田勲勇氏及び宇田賢一氏の2名は本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、監査役 2名の選任をお願いするものであります。
- なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。監査役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名(ふりがな) 生年月日
1	住田 勲勇(すみた いさお)
I	1943年8月21日
2	千葉 繁樹(ちば しげき)
(社外/独立/新任)	1957年9月18日





## 株式会社ブイ・テクノロジー 第27回定時株主総会にご出席頂き、 誠にありがとうございました。